

ドリームハロー オート装置

取扱説明書・部品表

製品コード K97007
型 式 NRY20-AF290

●適応トラクタ

ヤンマー ▶ F17～24、175～265、180/200/220
F190/210/230/250、37/46
FX17～42、175～265/30S、285～435
FF205/225/245
RS24/27/30/33
AF22～28/210～310

●適応ドリームハロー

NS/08Y、10Y、20Y
NSY/08、10、20
NR/08Y、10Y、20Y
NRY/08、10、20タイプ

8172 374000

⚠注意

この製品を安全に、また正しくお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。

- 間違えた使い方をするとう事故を引き起こすおそれがあります。
- お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してください。

本製品の使用目的

- このオート装置は、ハローのレーキの動きをセンサーで感知し、その信号をトラクタに伝え、ハローの深さの調節を、トラクタの油圧コントロールでおこない、耕深を一定に規制するものです。使用目的以外の作業には、決して使わないでください。
- オート装置は、決められたトラクタ型式と作業機の型式に合うように設計してあります。
それ以外での使用は、しないでください。
- 本文中のハローの名称は、ドライブハロー、ウィングハローの両方を示します。

安全に作業をするために

⚠注意

- トラクタの取扱説明書「油圧コントロール」の項をよく読んでください。
- 作業機の取扱説明書をよく読んでください。
- オート装置の調整をするときは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- オート装置の調整をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にしてください。
- オート装置の調整で、作業機を上げ下げするときは周囲の人や物に注意してください。
- オート装置の調整中に、突然作業機が上下するおそれがあります。十分注意してください。
- トラクタのまわりや作業機との間に、人が入らないようにしてください。
- オート装置の調整がすんだら、適正な工具を使い、確実にボルト・ナット類を締め付けてください。
守らないと、傷害事故や機械の損傷につながります。

組立

オート装置の組付けは、部品表を参照して組立ててください。文章中の番号は部品表の番号です。

△注意

●オート装置を組付けるときは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。守らないと、ケガや機械の損傷の原因になります。

●オート装置を組付けるときは、ハローのスタンドを使用し、レーキをフリーにしてください。

- (1) 土引きハンドルを解除し、レーキをロックしないで代かき作業状態にしてください。
- (2) レーキが他のものにふれていないで、自然に垂れ下がっているようにしてください。

- 1 WASシリーズのウィングハローは、中央レーキの5ページ図の位置に①止ピンHR8を取付け、②平座金③割りピンで抜け止めをします。③割りピンは④の穴へ取付けます。

補足

WBS、WGS、WRSシリーズのウィングハロー及び NS-Y、NSY、NR-Y、NRY、HRHシリーズのドライブハローには、止ピンHR8が装備されています。

- 2 「ガスプリング」方式のドライブハローは、5ページ図のように右側に組付けられてあるレバーを左側へ組替えます。
そして右側に②3 プレータを②4 ばね座金付小形ボルトで取付けます。

補足

レバーが左側に組付けられているドライブハローは、組替えの必要はありません。

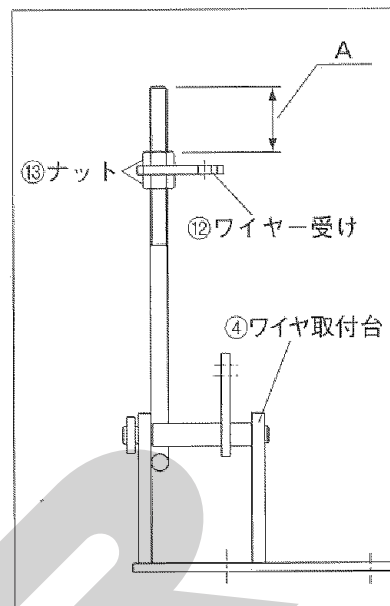
- 3 ハローの耕耘部カバー中央より右側にあるカラーキャップを外し、そこへ④ワイヤ取付台を⑤ボルト⑥ばね座金で取付けます。

- 4 ⑦プッシュロッド415Aを①止ピンHR8へ取付け、⑧割りピンで抜け止めをし、⑦プッシュロッド415Aのもう一方を④ワイヤ取付台の下記の穴へ取付け、⑪Rピンで抜け止めをします。

NS-Y	HRH	
NSY	WAS	
NR-Y	WBS-05	型ハロー ⇒
NRY	WRS-00	

WBS-00	
WGS	型ハロー ⇒
WRS-10	

- 5 ⑫ワイヤー受けを④ワイヤ取付台のロッドに、⑬ナットで右図の位置に取付けます。



- ⑫ワイヤー受けとロッドのA寸法を、下記の通りに仮調整します。
- A寸法の最後の長さ調整は、次の「調整のしかた」の②でおこなってください。

A寸法

WRS-10 型ハロー 40mm

NS-Y	HRH	
NSY	WBS-05	型ハロー 55mm
NR-Y	WRS-00	
NRY		

WAS
WBS-00 型ハロー 60mm
WGS

- 6 ⑭FXケーブル1600の先端に⑮小形ボルト⑨小形ナットを取付け、さらに⑮小形ボルトを④ワイヤ取付台の下記の穴へ取付け、⑨小形ナットでロックします。

WRS-10 型ハロー ⇒

NS-Y	WAS	
NSY	WBS	
NR-Y	WGS	型ハロー ⇒
NRY	WRS-00	
HRH		

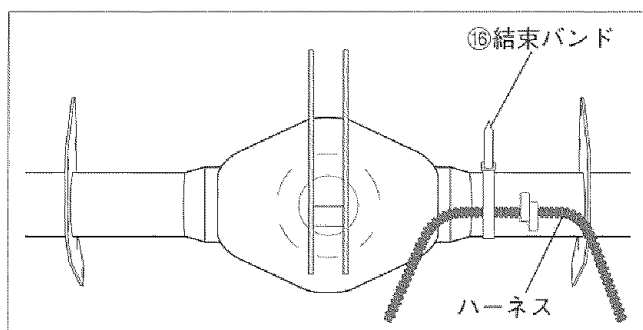
補足

⑭FXケーブル1600の先端が、スムーズに動くように調整してください。

- 7 ⑭FXケーブル1600の OUTER部を⑫ワイヤー受けへ取付け、ロックナットで仮止めをします。

8 WRS-10N
WRS-00BE 仕様の場合
WBS-05BE

ウィングハロー側のハーネスを⑯結束バンドでフレームへ止めて、たるみをなくしてください。



調整のしかた

△注意

- トラクタの取扱説明書「各操作部のはたらき」の項をよく読んでください。守らないと、ケガや機械の損傷につながります。
- オート装置の調整をするときは、トラクタのエンジンを停止し、メインスイッチを「切」にして、おこなってください。守らないと、ケガや機械の損傷につながります。

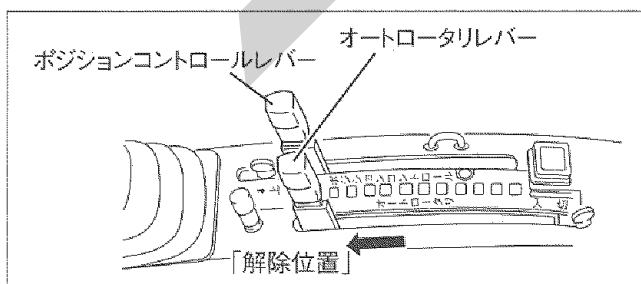
オート装置を使用する場合の操作・調整は、トラクタの取扱説明書をよく読み、おこなってください。

1 トラクタにハローを装着します。

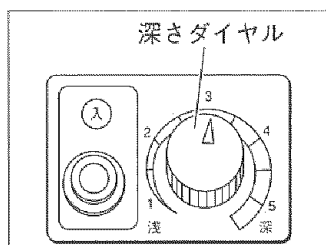
ハローの取扱説明書をよく読み、トラクタにハローを装着してください。

(1) メカオート仕様トラクタ(EG-UFO仕様含む)

トラクタのオートロータリレバーを「解除」(最下げ)位置にして、エンジンを始動します。

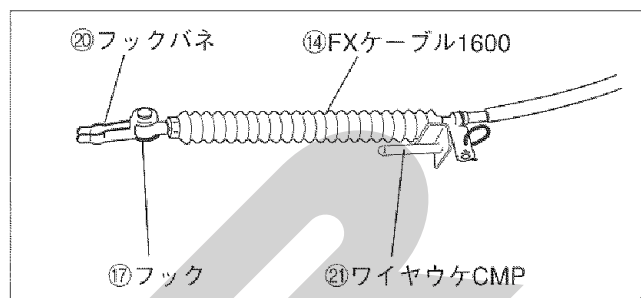


OK-UFO仕様トラクタ
トラクタの深さダイヤルを「最深」位置にして、エンジンを始動します。



(2) ハローのスタンドを外し、トラクタのポジションコントロールレバーを操作し、ハローのレーキを地面から2～3 cm浮かせ、エンジンを停止します。

(3) ②ワイヤウケCMPをワイヤブラケットの一番奥まで挿入します。そして⑳フックバネをトラクタのフィードバックリンクに取付けます。

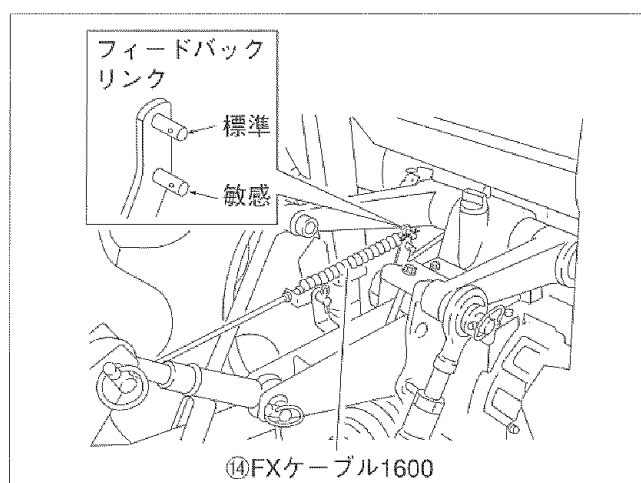


補足

⑭FXケーブル1600には②ワイヤウケCMPを⑧割りピンで、また⑰フック⑳フックバネを⑮頭付ピン⑩平座金⑨割りピンで、それぞれ組付けてあります。

RS 24/27/30/33トラクタ

- ⑭FXケーブル1600の先端についている②ワイヤウケCMP⑰フック⑳フックバネを外します。
- ⑭FXケーブル1600の先端をトラクタのフィードバックリンクの「標準」の位置に接続し、⑭FXケーブル1600をワイヤブラケットに取付け、㉒Rピンで抜け止めをします。



2 FXケーブル1600の調整

- (1)トラクタのフィードバックリンクを5mm位引くように、⑭FXケーブル1600のアウトター部の調整ねじで調整します。

補足

⑭FXケーブル1600のアウトター部の調整ねじでは調整しきれなかった場合は、⑫ワイヤー受けの位置で調整をしてください。

- (2)トラクタのエンジンを始動し、オートロータリレバーまたは深さダイヤルを「最浅」位置にしてもハローが上がらず、手でハローのレーキを少し持ち上げると油圧が働いて自動的にハローが上がり、手を離すとハローが降下すれば調整は完了です。

補足

オートロータリレバーまたは深さダイヤルを「最浅」位置にしたときに、ハローが上がれば、調整不良ですので、ハローを元の位置まで下げ、エンジンを停止し、⑭FXケーブル1600の張りを少したるませ、再度(2)の項の確認をおこなってください。

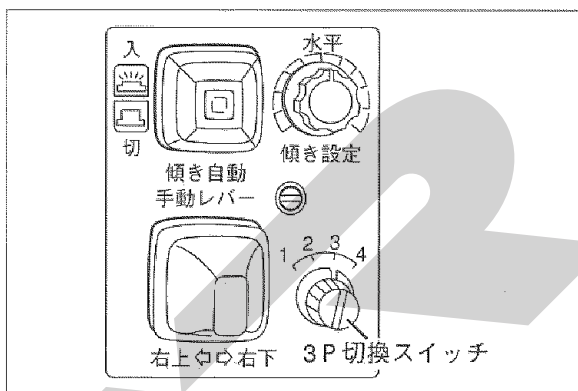
- (3)トラクタのポジションコントロールレバーでハローを上下します。そのとき、⑭FXケーブル1600が車輪やジョイントに巻き込まれたり張り過ぎないように長さを調整して、⑯結束バンドでクイックヒッチ部へ止めます。

トラクタのスイッチの使い方

1 メカオート仕様トラクタ(EG-UFO仕様含む)

(1) 3 P切換スイッチの位置(EG-UFO仕様)

トラクタの機種により3 P切換スイッチの位置は異なりますので、トラクタの取扱説明書「EG-UFO仕様について」の項をよく読み、3 P切換スイッチをセットしてください。



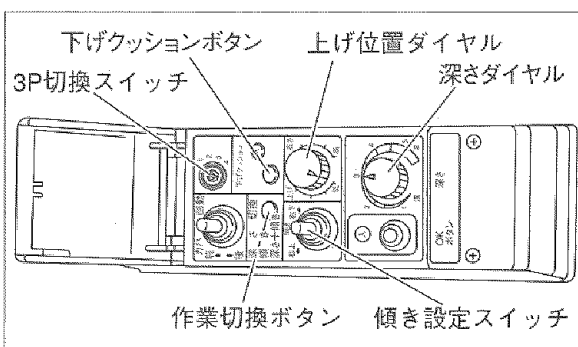
(2) オート操作

トラクタの取扱説明書「ロータリ耕での耕深設定のしかた」の項をよく読み、操作してください。

2 OK-UFO仕様トラクタ

(1) 3 P切換スイッチの位置(OK-UFO仕様)

トラクタの機種により3 P切換スイッチの位置は異なりますので、トラクタの取扱説明書「OK-UFO仕様について」の項をよく読み、3 P切換スイッチをセットしてください。



(2) オート操作

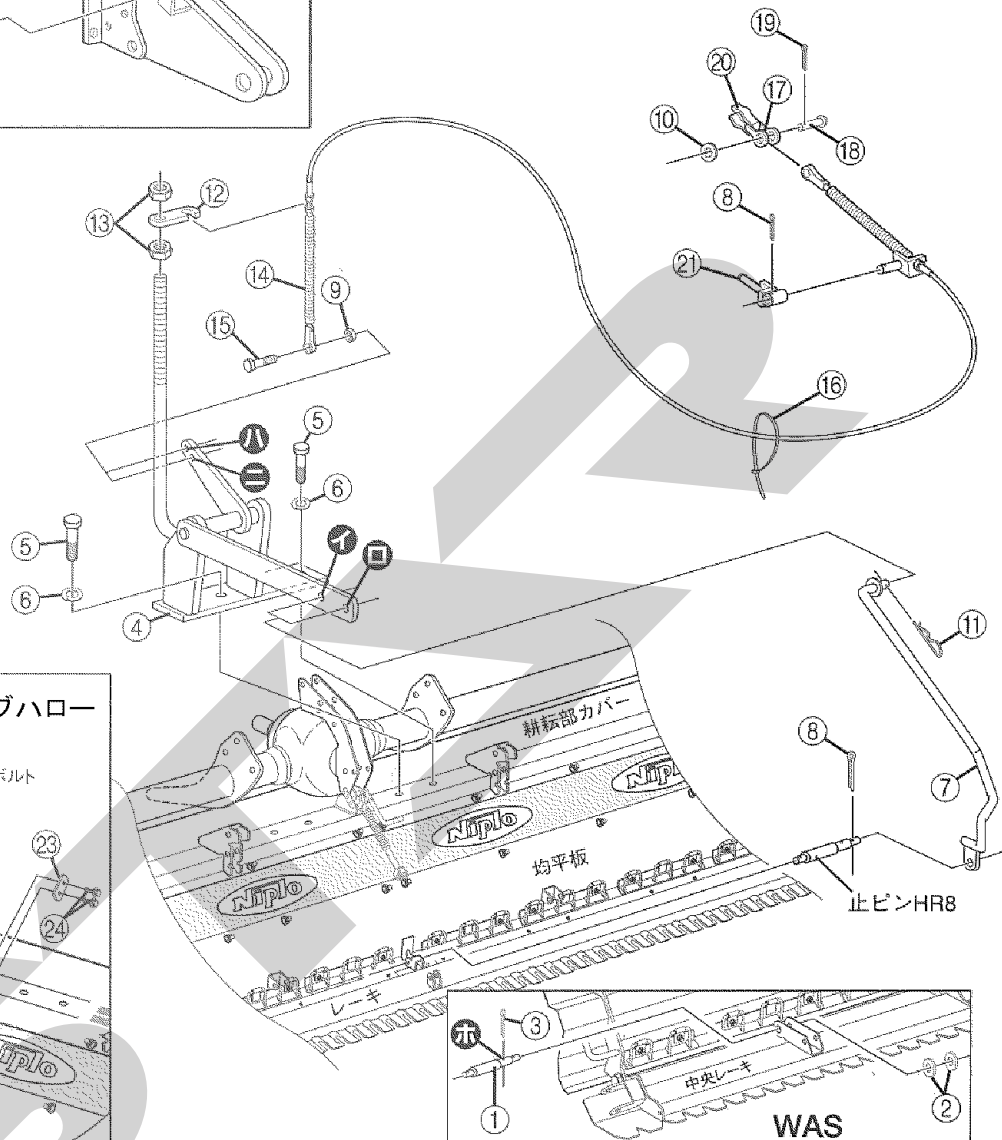
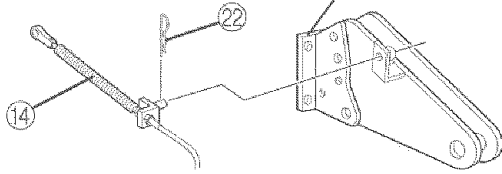
トラクタの取扱説明書「OK-UFO仕様について」の「ロータリ作業」の項をよく読み、操作してください。

3 保守・点検整備

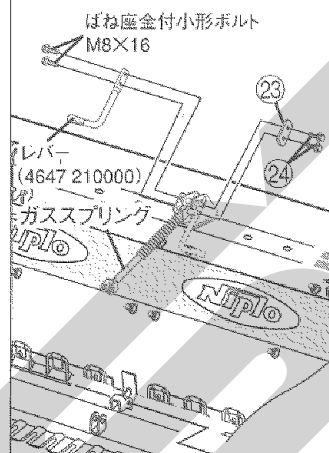
作業が終了したら、オート装置の動く部分に注油し、サビを防いでください。

RS 24 ~ 33

トップリンクブラケット



NS、NR型ドライブハロー



No.	部品番号	部 品 名	数 量	備 考	No.	部品番号	部 品 名	数 量	備 考
1	4647 121000	止ピンHR8	1		13	0410 012001	ナット M12	2	
2	0930 012000	平座金 M12	2		14	8172 370000	FX ケーブル 1600	1	
3	0832 103225	割りピン 3.2×25	1		15	0320 008025	小形ボルト M8×25	1	
4	8172 368000	ワイヤ取付台	1		16	0940 210370	結束バンド PR-370	3	
5	0310 010020	ボルト M10×20	2		17	5284 031000	フック	1	195295-28630
6	0931 010000	ばね座金 M10	2		18	0851 008025	頭付ピン 8×25	1	
7	8172 369000	プッシュロッド415A	1		19	0832 102020	割りピン 2×20	1	
8	0832 102520	割りピン 2.5×20	2		20	5284 031100	フックバネ	1	195295-28640
9	0420 008001	小形ナット M8	1		21	5284 031300	ワイヤウケCMP	1	195295-28611
10	0930 008000	平座金 M8	1		22	0832 200012	Rピン A-12	1	
11	0832 200008	Rピン A-8	1		23	4647 214000	プレート	1	
12	8172 295000	ワイヤー受け	1		24	0326 008016	ばね座金付小形ボルト M8×16	2	

※部品注文の際には、部品番号の頭にESをつけてご注文お願い致します。 例) ES4647 121000

松山株式会社

本社：〒386-0497 長野県上田市塩川5155
☎(0268)42-7500 FAX(0268)42-7556
物流センター：〒386-0497 長野県上田市塩川2949
☎(0268)36-4111 FAX(0268)36-3335
北海道営業所：〒068-0111 北海道岩見沢市栗沢町由良194-5
☎(0126)45-4000 FAX(0126)45-4516
旭川出張所：〒079-8451 北海道旭川市永山北1条8丁目32
☎(0166)46-2505 FAX(0166)46-2501
帯広出張所：〒082-0004 北海道河西郡芽室町東芽室北1線18番10
☎(0155)62-5370 FAX(0155)62-5373
東北営業所：〒989-6228 宮城県大崎市古川清水3丁目石田24番11
☎(0229)26-5651 FAX(0229)26-5655

関東営業所：〒329-4411 栃木県栃木市大平町横堀みずほ5-3
☎(0282)45-1226 FAX(0282)44-0050
長野営業所：〒386-0497 長野県上田市塩川2949
☎(0268)35-0323 FAX(0268)36-4787
岡山営業所：〒708-1104 岡山県津山市綾部1764-2
☎(0868)29-1180 FAX(0868)29-1325
九州営業所：〒869-0416 熊本県宇土市松山町1134-10
☎(0964)24-5777 FAX(0964)22-6775
南九州出張所：〒885-0074 宮崎県都城市甲斐元町3389-1
☎(0986)24-6412 FAX(0986)25-7044